



①明世小学校

2013年～2014年に大規模改修を実施。

〈課題〉

明世小学校の児童数は減少傾向である。しかし、地域の中核的な施設であることから小学校を維持します。多方向に避難経路（通学路）できる安全で安心な学校に整備するべきである

明世小学校の児童数

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
児童数	196	196	185	181	178	170	159	

②化石博物館・陶磁資料館・市之瀬廣太記念美術館

耐用年数は、化石博物館が2023年（令和5年）、陶磁資料館が2029年（令和11年）、市之瀬廣太記念美術館が2041年（令和23年）となっている。

再編時期は、2027年～2036年 1館に集約化。（化石博物館は、令和6年度に屋上防水工事と高圧受電装置更新の改修工事を行う。）

〈課題〉

10年以上前から地元は、3館を1館に集約化することを強く要望している。集約化された施設は、リピーターが訪れる感動的で、地域のシンボルとなる施設を設けるべきである。



化石博物館

③市民競技場・市民体育館

耐用年数は、市民体育館が2038年、市民テニスコートが2024年、市民野球場が2016年、市民競技場が2015年、市民アーチェリー場が2026年、市民弓道場が2052年となっている。

再編時期は、市民体育館が2027～2036年（集約化）、市民テニスコートが2017～2021年（集約化）、市民野球場が2037～2046年（集約化）、市民競技場が2027～2036年（集約化）、市民アーチェリー場が2022～2026年（広域化・除去）、市民弓道場が2047～2056年（広域化・除去）

〈課題〉

各地域の競技場・球場などが除却される予定で、市民競技場・市民体育館に集約化される。車の利用者増加が予測されるため、2階建ての駐車場とすべきである。また、利用料金の見直しも必要。いこいの広場に大型テントを設け、全天候型のイベント会場にするべきである。



市民体育館